



ポスター（オープンアクセス これまでとこれから）

引用	公開シンポジウム『オープンアクセス：これまでとこれから』，2019年12月17日
URL	http://hdl.handle.net/10466/00016726

大阪府立大学・大阪市立大学 図書館 公開シンポジウム

オープンアクセスーこれまでとこれからー

2019年12月17日（火）13:30ー16:00

大阪府立大学 学術交流会館多目的ホール
（中百舌鳥キャンパス）

対 象

大阪府立大学・大阪市立大学 教職員・学生
本テーマに関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます

事前申込制 締切：2019年12月13日（金）

http://www.osakafu-u.ac.jp/library-news/nws20191108_2/



プログラム

【開会挨拶】

石井 実 大阪府立大学 学長顧問

【第一部】（13：35ー14：50）

■両大学のリポジトリ紹介

「大阪府立大学学術情報リポジトリOPERAの10年」

大阪府立大学 学術情報課

「大阪市立大学学術機関リポジトリOCURA」

大阪市立大学 学術情報課

■基調講演

「研究成果のオープン化から始まる研究戦略」

引原 隆士 京都大学 図書館機構長・附属図書館長



【第二部】（15：00ー15：55）

■話題提供

「機関リポジトリはどのように使われているのか」

佐藤 翔 同志社大学 免許資格課程センター准教授



■パネル討論

「研究者にとってのオープンアクセス」

司 会：沼倉 宏 大阪府立大学 学術情報センター図書館長

パネリスト：引原 隆士

佐藤 翔

杉本 憲治 大阪府立大学 生命環境科学研究科教授

村上 晴美 大阪市立大学 工学研究科教授・学術情報総合センター副所長

【閉会挨拶】

櫻木 弘之 大阪市立大学 副学長

主催：大阪府立大学学術情報センター図書館、大阪市立大学学術情報総合センター
協賛：大阪府立大学研究推進課、大阪市立大学研究支援課